

令和3年度 校長より ⑤

7月下旬の東京2020オリンピック開会式に関わる連休後から、本校では夏季休業期間に入りました。7月22日からは、それまでの「まん延防止等重点措置」の中で最大級の対応を図るため「神奈川版緊急事態宣言」が発出されていまして、本校では夏季休業期間に入る前から、生徒に対しては、宣言期間中における部活動等の感染防止対策や教育活動外での行動について、これまで以上の感染防止対策の強化・徹底を図るよう指導するとともに、保護者の皆様に対しては、家庭での感染予防に協力いただくようお願いしてまいりました。

夏季休業期間に入ってから、学校では補習や講習、部活動、体育祭の準備や練習が連日行われましたが、生徒は、登下校や教育活動中における感染防止対策に細心の注意をはらいながら取り組んでいました。そうした生徒の様子からは、志の高さを感じることができました。これは、学校のみならず家庭や地域社会でも学ぶ姿勢を生徒たちが持っているからこそその姿であり、学校が普段から保護者の皆様や地域の皆様の力に支えている証であると思われました。皆様方には、改めて感謝申し上げます。皆様の期待に答えられるように、引き続き、生徒の成長や人格の育成に尽力してまいります。

7月31日から8月6日までは、第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021」が開催されました。本校からは、囲碁将棋部、新聞委員会の生徒が参加するとともに、美術部の作品が出展されました。将棋部門では個人による対局の勝負に臨み、新聞部門では取材活動と交流新聞づくりに取り組みました。美術・工芸部門では5日間に渡る作品展が行われました。また、8月10日から13日までは、令和3年度全国高等学校総合体育大会「輝け君の汗と涙北信越総体2021」ウエイトリフティング競技大会が開催されました。本校からは、ウエイトリフティング同好会の生徒が参加し、自己記録の更新を目指した一瞬のパフォーマンスに臨みました。どちらの部門や競技も入賞などの結果には至りませんでした。全国の舞台を踏んだことや他都道府県の高校生と交流できたことは大きな自信や財産になったことと思います。また、こうして足跡を残してくれたことは、今いる他の生徒たちや今後の後進の人たちには、良い影響を及ぼしてくれることと思います。そうしたことをしていただいた皆さんに、校長として心より敬意を表したいと思っております。

さて、8月30日からは、いよいよ2学期が始まります。現在本県には、9月12日まで「緊急事態宣言」が発出されています。ここ連日は、県内で一日2000人以上の感染者の報告があり、本校においても本校関係者の感染が大変心配されるところです。今後、どのような対応が迫られるかをはかり知ることは困難ではありますが、生徒の安全・安心を可能な限り確保するとともに、生徒にとって一生に一度の高校生活が充実したものとなるように、学びの保障にも精一杯に努めて参りたいと思っております。ご支援をよろしくお願いいたします。

令和3年8月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆